

上皇の政治と平氏

学習日 月 日

点

1 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

11世紀の後半、藤原氏との関係がうすい後三条天皇が位につき、貴族が持つ私有地の整理を行った。そのあとを継いだ（ A ）天皇は、位を幼い皇子にゆずったのちも、朝廷の政治を動かし続けた。やがて上皇と天皇の対立に貴族どうしの争いが結びつき、都で二度の戦乱が起こった。

- ① Aにあてはまる人物名を答えなさい。 ()
- ② Aの人物が始めた政治のしくみを何というか。 ()
- ③ ②はどのようなしくみか。「天皇」の語を使って書きなさい。
()
- ④ 1156年に起こった戦乱と、1159年に起こった戦乱を、それぞれ何というか。
1156年 () 1159年 ()
- ⑤ 二度の戦乱にどちらも勝ち、勢力を広げた武将はだれか。 ()

2 次の文章と右の地図を見て、あとの各問いに答えなさい。

平氏は、朝廷の高い官職を一族で独占し、西日本を中心に多くの土地を支配した。しかし、そのやり方は貴族と変わらないものであったため、各地の武士の不満が高まっていった。やがて東国で兵をあげた源氏に追われ、西へのがれて滅んだ。

- ① 平氏の武将が1167年に武士としてはじめて任じられた役職を、漢字4字で答えなさい。
()
- ② 平氏は中国と貿易を行った。当時の中国の王朝名と、この貿易の名を答えなさい
王朝 () 貿易 ()
- ③ ②の貿易のために整備された港を、次から1つ選びなさい。
[ア 兵庫 イ 博多 ウ 難波] ()
- ④ 平氏が一族の守り神としてあつく信仰し、海上に社殿を築いた神社を何というか。
()
- ⑤ 1185年に平氏がほろんだ戦いを何というか。 ()
- ⑥ 兵をあげて平氏を攻めさせた、伊豆に流されていた人物はだれか。
()

解答

1

- ① 白河上皇
- ② 院政
- ③ 天皇が位をゆずって上皇となったのちも、政治の実権をにぎるしくみ。
- ④ 1156年 保元の乱 1159年 平治の乱
- ⑤ 平清盛

2

- ① 太政大臣
- ② 王朝 宋 貿易 日宋貿易
- ③ ア
- ④ 厳島神社
- ⑤ 壇ノ浦の戦い
- ⑥ 源頼朝